



アンコールワットの遺跡群。いくつもの長い時代を超えてきた美しいレリーフを再現するため、暖かみのある和紙を選んで出力した。
アワガミファクトリー AUPびざん(中厚口) 手漉き紙



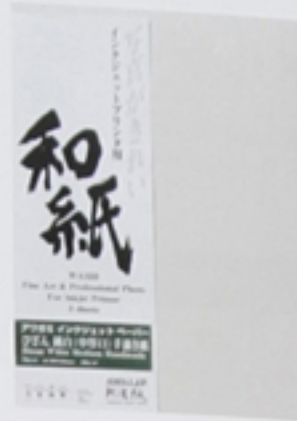
和紙

アワガミファクトリー・AIJPびざん純白(中厚口)手漉き紙

- 税込価格: A3/5枚/5,775円、A2/5枚/16,800円、A1/5枚/20,475円
- 坪量: 200g/m² ●販売: アワガミファクトリー

最大濃度	白色度	pH値	厚さ・コシ
1.34	85.5%	7.8	ランク3

テスト内容と評価方法についてはP98~101を参照。



和紙は、色域や諧調などを他の写真用紙と比較してあれこれ細かく言うものではないと思う。用紙と向き合い、それを受け入れられるかどうかで決めれば良いのだろう。アワガミは、グレゴリー・コルベール氏の作品展「Ash and Snow」に使用されたことで一躍広まったようだが、一般的なインクジェット用紙にはない独特の風合いがある。「びざん」は手漉きのため、厳密には1枚1枚のサイズが微妙に違う。また、コーティング剤を手で塗っていると。和紙がここまで発色できるようになったことは驚きだ。海外で写真を見せる機会があるなら、絶対に和紙に出力したいと思っている。実際に出力して眺めてみると、飽きることのない柔らかい空間を作り出せる。そんなやさしい用紙にとっても好感が持てる。

★5点で満点評価 ☆=1/2点

色域	★★
白色度	★★★
暗部の再現性	★★★
グレーの色変化	★★★★
厚さ・コシ	★★★★
光沢感	★
風合い	★★★★

総合評価 ★★★★★☆

色域比較(三次元)

「エプソン・フォトマット紙/顔料専用」と比較すると、ひと回り色域が狭いのが確認できる。暖色系の部分だけが同じくらいの色域だ。



色域比較(L値断面図)

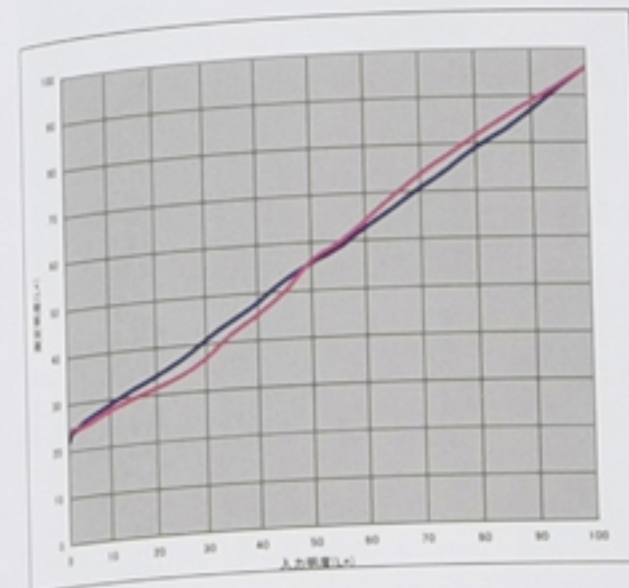
「エプソン・フォトマット紙/顔料専用」と比較すると、ハイライト側のレッド系以外は、どの濃度域でも色域が狭くなっている。ただ、実際に出力すると風合いのほうに印象としては強く、そこから判断すべきだろう。

— アワガミファクトリー・AIJPびざん 純白(中厚口)手漉き紙
— エプソン・フォトマット紙/顔料専用



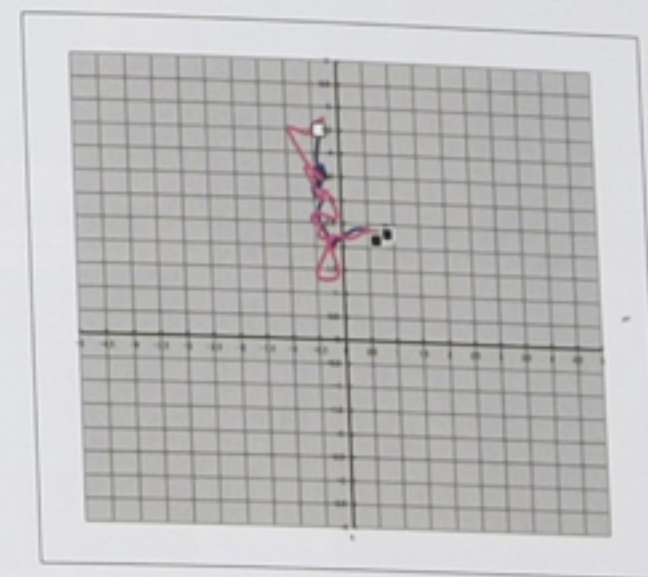
明度(L値) 諧調グラフ

濃度域が狭いため、暗部は解まらない。ICCプロファイルでコントロールすると、中間調でコントラストが高く、シャドウ側では徐々に諧調がなくなっていく。濃度域の狭い用紙では、このほうが写真的に見えるだろう。



a*-b*色度変移グラフ

各諧調による色の変化は、常に暖色系の発色になる。ColorMuki Photoで作ったICCプロファイルがハイライトは紙色に、中間調はab値0のほうに近づき、シャドウ側はインクの色に寄っていくのが確認できる。



— ICCプロファイルで出力(両グラフとも) — プリンタドライバで出力(両グラフとも)

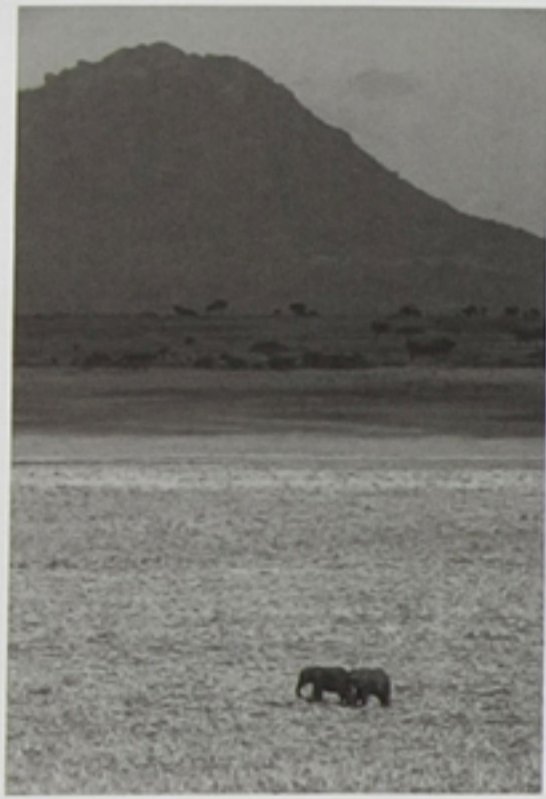
和紙

アワガミファクトリー・AIJPプレミアムいんべ

●税込価格: はがき/10枚/504円, A4/10枚/1,785円, A3/ビ/10枚/3,990円, A2/10枚/6,825円, A1/10枚/13,650円 ●坪量: 180g/m² ●販売: アワガミファクトリー

最大濃度	白色度	pH値	厚さ・コシ
1.41	82.9%	7.5	ランク3

テスト内容と評価方法についてはP98~101を参照。



従来からあるアワガミファクトリーのAIJPシリーズを踏襲しつつ、2枚貼り合わせことで厚さとコシを出した用紙だ。持ったときの重量感もさることながら、プリンタへの給紙が安定していることが良い。作業途中で、シフになるようなトラブルはなくなったと思う。また、裏映りして紙裏にある色が見えるということもなくなった。「いんべ」はどちらかというと、少しでも低価格にしたいと考えた用紙だろう。「楮(こうぞ)」は毎年採れるが、「三稜(みつまた)」は3~5年のサイクルで採れる。「いんべ」は麻と楮を組み合わせていて生産性が高いようだ。和紙を始めたいという人には、この「プレミアムいんべ」を導入してはどうだろうか。価格もリーズナブルでA4が1枚178円程度だ。また、同社の商品の中で唯一この「いんべ」だけが両面印刷が可能だ。

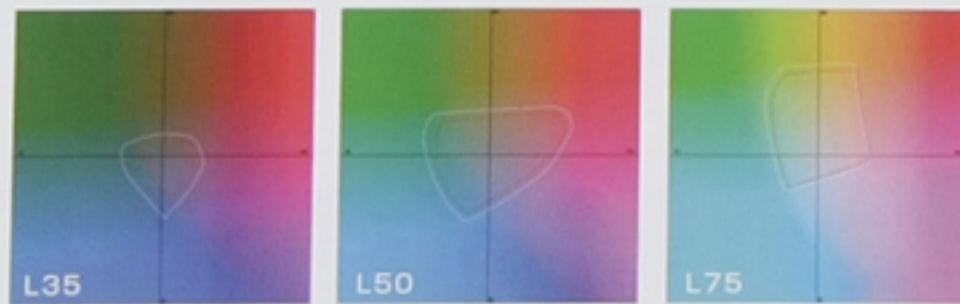
★5点で満点評価 ☆=1/2点

色域	★★
白色度	★★★
暗部の再現性	★★★
グレーの色変化	★★★★★
厚さ・コシ	★★★★★
光沢感	★
風合い	★★★★★

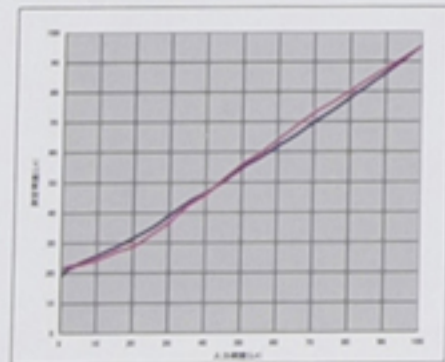
総合評価 ★★★★★☆

色域比較(L値断面図)

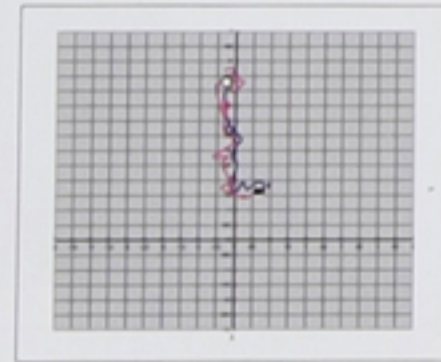
— アワガミファクトリー AIJPプレミアムいんべ
— エプソン・フォトマット紙/顔料専用



明度(L値)諧調グラフ

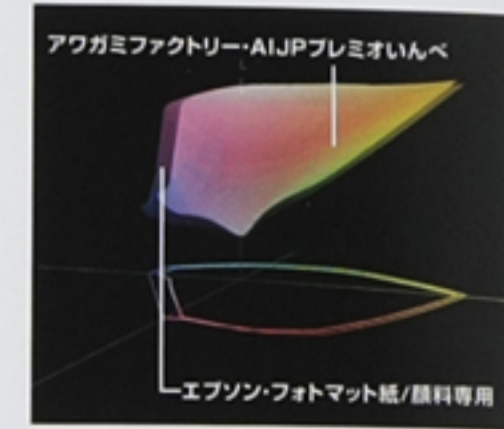


a*-b*色度変移グラフ



— ICCプロファイルで出力(両グラフとも) — プリンタドライバで出力(両グラフとも)

色域比較(三次元)



ハイライト側で「エプソン・フォトマット紙/顔料専用」より少し色域が広い部分はあるが、それ以外の部分ではほとんどが狭い。色調はすべて暖色系になる。濃度域を見てもわかるとおり、この用紙には高彩度を求めるのではなく、和紙の柔らかい味わいを求めるほうが良いだろう。

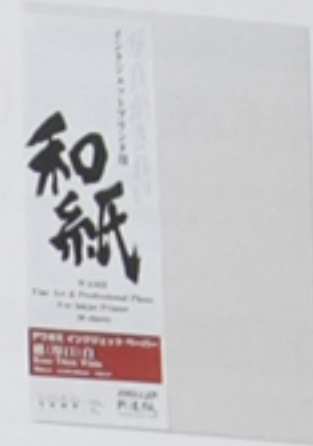
和紙

アワガミファクトリー・AIJP楮(厚口)白

●税込価格: A4/20枚/3,360円, A3/10枚/4,095円, A3/ビ/10枚/4,410円, A2/10枚/7,875円, A1/10枚/15,750円 ●坪量: 110g/m² ●販売: アワガミファクトリー

最大濃度	白色度	pH値	厚さ・コシ
1.42	83.6%	7.6	ランク3

テスト内容と評価方法についてはP98~101を参照。



色域や濃度域は通常の写真用紙よりも和紙のほうが狭い。では、どのような写真に適しているのかというところローキーな写真よりもハイキーな写真のほうがアートを感じ、和紙には向いていると思う。ハイキーな写真は、場合によっては色域も濃度域もそれ程必要ないからだ。銀塩のバライタ紙などは入射した光が反射し、拡散するときに美しいが、障子にも使われる和紙は元々は裏から光を通す「底光り」という性質がある。実際に透過させなくても、眺めているとしっとり感を感じるはこの「底光り」のせいかもしれない。



★5点で満点評価 ☆=1/2点

色域	★★
白色度	★★★
暗部の再現性	★★★
グレーの色変化	★★★★★
厚さ・コシ	★★★★★
光沢感	★
風合い	★★★★★

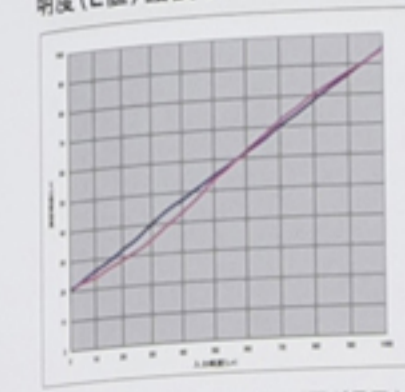
総合評価 ★★★★★☆

色域比較(L値断面図)

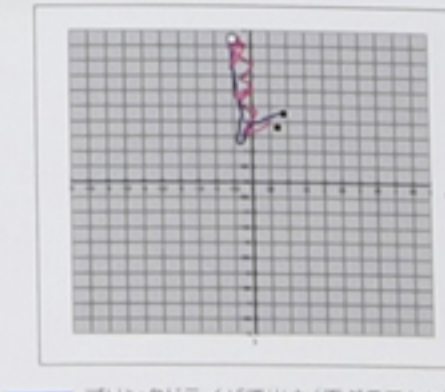
— アワガミファクトリー AIJP楮(厚口)白
— エプソン・フォトマット紙/顔料専用



明度(L値)諧調グラフ



a*-b*色度変移グラフ



— ICCプロファイルで出力(両グラフとも) — プリンタドライバで出力(両グラフとも)

色域比較(三次元)



炭酸カルシウムを使用して和紙の濁を埋めることにより、色域を広くし、中性紙にして二酸化ケイ素をコーティングすることで色域を出せるようにしたと思う。ハイライト側のほうが諧調が再現できるのでハイキーな表現に適しているだろう。